

ジョリーフォニックス ワークシヨップ

ブリティッシュ・カウンシル協力

小・中学校の指導者向け無料セミナー

Jolly
Learning
EDUCATIONAL PUBLISHER



東京書籍

後援：ジョリーラーニング社、東京書籍

第一部

9:30～12:00

小学校における文字の読み書き指導

～ 読み書きの基礎を身に付ける
シンセティック・フォニックス ～

2020年度から小学校での英語が教科化されます。子どもたちにどのように文字指導を行ってほしいのか悩まれている先生もたくさんいらっしゃると思います。

学級担任が日本語で指導できる多感覚を使った効果の高い文字指導について紹介します。

山下桂世子 Kayoko Yamashita

日本で小学校の教員（通常学級と特別支援学級）、イギリスのプリ・スクールでの勤務経験を経て、少数民族サポート機関 EMASS へ。現在はイギリスの現地小学校で Language Assistant 兼特別支援チームのリーダーとして勤務。現地 ACE（市の成人学級）では日本語講師の顔も。

Jolly Phonics / Jolly Grammar トレーナーとして 2013年から活動を開始。ジョリーフォニックスの指導経験はその時点で十年を超える。



第二部

13:00～16:45

第一部の実践者からの報告

～ 3件の実践報告から学ぶシンセティック
・フォニックスの効果と課題 ～

栄利滋人：仙台市立国見小学校（小学校英語指導 10年）

ローマ字読みから音を読むフォニックスへ切り替える6年生の実践：11月から3月までの実践。基本42音を教える工夫。紙皿自作教材を使った授業。iPadアプリを用いて音を聞かせる授業。児童が理解しやすい音と理解が難しい音の実際と改善策。

阿部志乃：横須賀学院小学校（ジョリーフォニックス・ジョリーグラマートレーナー）

横須賀学院におけるジョリーフォニックス実践。低学年からの読み書き指導実践。

渡辺さくら：南魚沼市教育委員会

加藤茂夫：新潟大学教育学部

入山満恵子：新潟大学教育学部

小学校高学年におけるシンセティック・フォニックスの実践～新潟県南魚沼市の実践1年目から見える効果と課題～
2016年より全小学校にてジョリーフォニックスの導入に伴い、プレ・ポストテストから見る効果と課題について。日本語の読み書きについての困難との関連について調査。

主催：山下桂世子（お申込み受付 & お問い合わせ担当者：Jimu）

お問い合わせ・お申し込みは <http://kayokoyamashita.com/20170726ws>（右 QR コードから。担当の Jimu（jimu@kayokoyamashita.com）よりメールが入ります。

会場：ブリティッシュ・カウンシル 英会話スクール飯田橋本校

〒162-0825 新宿区神楽坂 1-2

<https://www.britishcouncil.jp/english/schools/iidabashi>

対象：小・中学校の先生、JTE、教育委員会、大学関係者など（日本語話者限定です）

定員：40名

